美保関

HISTORY GUIDEMAP OF MIHONOSEKI

歴史ガイドマップ

美保関歴史ガイドマップ

美保関・青石畳通り

ACCESS

お車で

米子自動車道・米子I.Cより……50分
米子空港より……45分
JR境港駅より……25分
JR松江駅より……75分

飛行機で

東京……米子 80分（全日空）

JRで

岡山 —伯備線 130分（やくも）— 米子 —山陰本線 23分（やくも）— 松江
米子 —境線 40分— 境港

美保関コミュニティバスのお問い合わせ
バスターミナル
TEL・FAX 0852-72-3119

観光のお問い合わせ
(一社)松江観光協会 美保関町支部
〒690-1501 島根県松江市美保関町美保関661
TEL 0852-73-9001　FAX 0852-73-9005
HP http://www.mihonoseki-kankou.jp/
E-mail:mihonoseki-k@mable.ne.jp

作成：令和4年2月
美保関町まちづくり協議会

美保関歳時記

1月5日
天神さん（美保関）
1月7日
竜神さん（笠浦）
菓子くばった2日ものお竜神さんを担いで通りを練り歩いしたあと竜神の許まで行くようにと海に流し、海上安全と豊漁を祈願をする神事です。
1月6日以降の最初の日曜日
墨つけとんど（片江）
風呂やかまどの煤を練って大根の輪切りに付け地区の人々の顔につけて一年の無病息災を願うユニークな行事です。
とんどさん
（各地）
1月7日～15日
旧1月28日
大日堂まつり（七類）
2月3日
節分・節分祭（美保神社）

※日程は変更されることがありますのでお問い合せください。
（松江観光協会 美保関町支部）

4月3日
流鏑馬神事（御佐神社）
悪魔を祓い安全と大漁豊作を祈願して地区内をかけ、最後に3本の矢を射るという古式ゆかしい神事です。
4月7日
青柴垣神事（美保神社）
国譲り神話に因んだ神事で、事代主神と三穂津姫命が美保湾の海原から二隻の船に乗って美保湾を巡ります。
5月4日
かんから祭り（雲津）
5月5日
神迎神事（美保神社）
5月8日
大日堂花まつり（金乗寺）
7月第4日曜
虫干し神事（片江）

8月7日
虫探神事（美保神社）
宮司が大御前（三穂津姫命）の神璽を開き、神面が素顔から鏡の間に下る。神璽のなかった白鉄を見つけ喜ぶ姿がよくないわれています。
10月16日
ほんぼかべり神事（下宇部尾）
11月第2日曜
ほんぼかべり神事（森山）
下宇部尾と森山の両博田神社に伝わる神事ではんぼ飯（びつ）を頭に載せ踊るユニークな神事です。
12月3日
諸手船神事（美保神社）
国譲り神話に因んだ神事で、2隻の船で水を掛けあいながら美保湾内を巡る様子が有名です。
旧12月亥の日
亥の子さん（雲津）
12月26日
ひざ餅神事（片江）

美保関・海崎・才浦・軽尾エリア

天神社

④美保関灯台と灯台ビュッフェ

灯台は明治31年に建設された1等灯台。平成19年、現役灯台としては初の国の登録有形文化財に登録され、令和4年2月にその歴史的価値の高さから、国の重要文化財に指定されました。

獅子が鼻奇岩

① 海崎港

海辺には江戸時代に築かれた石敷きの護岸が残っています。

② 五本松公園

民謡「関の五本松節」の由来になった松があります。現在の松は3代目です。頂上からの眺望は美保湾が一望できる素晴らしいものです。(徒歩15分)

③ 久具谷社

美保神社の境外社の一つ。漫画家「水木しげる」先生が「妖怪が住んでいる」と呼んだ神社です。

大日堂

青石畳通り

●諸手船神事

青柴垣神事と同様に国譲り神話に因んだ神事で、毎年12月3日に行われます。天つ国の使者が船に乗って国譲りの交渉にやって来る様子を再現したもので、美保関港内で2隻の諸手船が水を掛け合いながら廻る様子が有名です。

●青柴垣神事

美保神社で毎年4月7日に行われる神事。事代主神が、天つ国の使者から国譲りの相談を受け、承諾した後に自ら海中に青い柴垣を巡らせて籠られたという神話に因んだ神事です。事代主神と三穂津姫命の依り代となった2人の當屋が2隻の船に乗って美保関港内を巡ります。

①美保神社

大社造りの本殿を2棟並べて装束の間で繋いだ独特の様式を持ち、国の重要文化財に指定されています。主祭神は三穂津姫命と事代主神の2柱です。事代主神は「国譲り神話」に登場する神で、国譲り神話に因んだ「青柴垣神事」と「諸手船神事」が伝えられています。

②おかげの井戸

美保神社の鳥居前にある井戸。文久元年(1861)の夏、かんばつになった時に掘られたもので、廻船の用水としても貴重な井戸でした。国の登録有形文化財に登録されています。

③青石畳通り

美保神社の鳥居の右手から佛谷寺に至る通りには、江戸時代に地元産の緑色凝灰岩を使って敷かれた石畳が残っています。雨に濡れるときれいな青緑色を呈することから、「青石畳」と呼ばれています。

④美保館本館、旧本館

青石畳通りを挟んで両側に建つ老舗和風旅館で、両館とも国の登録有形文化財に登録されています。島崎藤村や高浜虚子が逗留した部屋も残されています。

⑤美保関資料館

美保関の歴史を紹介する資料館で、鷦鷯(ささき)家に代々伝わる資料が展示されています。中でも2千両箱は珍しく、中世から近世にかけて海運で栄えた美保関の歴史を物語る貴重な資料です。

⑥入来舎

地元主婦の有志で立ち上げた「つわぶきの会」が運営する古民家を使った「お休み処」です。不定期で営業しています。

⑦佛谷寺、大日堂

鎌倉時代に隠岐に流された後鳥羽上皇と後醍醐天皇が風待ちの行在所とした三明院を吸収したお寺です。大日堂には、重要文化財に指定された平安中期に彫られた5体の仏像が安置されています。また、八百屋お七の恋人、寺小姓吉三の墓もあり、縁結びスポットとしても知られています。

⑧橋津屋

江戸時代に建てられた古民家を改装した宿です。宿泊ができる他、漁村の暮らし体験や、まち歩き歴史体験が出来ます。
（問い合せ）　美保関地区活性化協議会　0852-73-0420

⑨客人社

美保神社の末社の一つで大国主命を祀る神社です。諸手船神事では出雲大社に見立てられる重要な神社です。

美保関歴史ガイドマップ

笠浦・千酌・北浦・稲積エリア

● 笠浦の竜神祭

毎年1月7日に行われる行事。麦藁を束ねて竜神船(リンゴさん)を造り、海へ流し、海上安全と、豊漁を祈る祭りです。

① 日御碕神社

主祭神は天照大神と事代主神。1月に竜神祭が行われます。

② 爾佐神社

祭神の「都久豆美命」は、千酌の地名の由来です。1月の御田植神事は時期的にも珍しく、4月には流鏑馬神事が行われます。

③ 鳴瀧塚

江戸時代末期の相撲力士「鳴瀧」の遺徳を顕彰するために建立されたと伝えられています。

④ 蓮華寺

臨済宗南禅寺の末寺で、本尊は十一面観音菩薩を安置しています。1800年から1816年まで、17年をかけた伊能忠敬一行の全国測量の宿泊所にもなりました。

⑤ 忠山城跡

戦国時代に山中鹿介らが尼子家再興を目指して毛利家と攻防した場所です。山頂からは中海や日本海が見渡せます。

⑥ 伊奈頭美神社

主祭神は稲倉魂命と大国主命で、出雲国風土記に載る古社。奈具良明神とも呼ばれ、御田植祭が伝わっています。

⑦ 北禅寺

曹洞宗清安寺の末寺で、本尊は阿弥陀如来を安置しています。

⑧ お客さんの森

森の頂にある神木に客神が宿ると言われています。豊作と豊漁を祈念する客神祭が行われています。

● 流鏑馬神事(爾佐神社)

悪魔を祓い、安全と大漁豊作を祈願して地区内を歩き、最後に3本の矢を射るという、古式ゆかしい神事です。

⑨ 伊奈阿気神社

主祭神は天御中主神で、元来は麻仁曽山の山上に祠があり、海上守護の神でした。出雲国風土記に載る古社で、麻仁曽明神ともいわれています。

⑩ 麻仁曽山

美しい山容の山で、往時は山頂に伊奈阿気神社が鎮座していました。

菅浦・片江・玉結・笹子エリア

● 川のコイ・ホタル

地域の取組みとして、川にコイを放流しています。また夏にはホタルも乱舞する清流です。

① 祇園さん

疫病を払う「悪切り」が江戸時代から山口家によって受け継がれています。

② 須義神社

猿田毘古神と応神天皇を祀り、出雲国風土記に載る古社です。江戸時代には神畑明神と呼ばれていました。

③ 伽藍さん

本尊が阿弥陀如来で脇侍に毘沙門天と不動明王を配しています。正月に地区の安泰や豊作豊漁を祈願するお祭りがあります。

④ 平畑遺跡

片江湾を望む緩斜面に立地する古墳時代～奈良時代の集落跡です。製塩土器が出土しています。

⑤ 芋地蔵(長寿寺)

江戸時代に大森代官井戸平左衛門がサツマイモの栽培を広めて飢饉をしのいだことに因んで建てられた地蔵です。

⑥ 方結神社

主祭神は国忍別命。出雲国風土記に載る古社で宇津明神とも呼ばれる。子供が膝で餅を搗く膝餅神事が伝わっています。

⑦ 片江船溜修築記念碑

片江湾の漁船停泊地築堤工事の完成碑です。

⑧ 片江神社御鎮座古跡地

須佐袁命の御子神である国忍別名、方結地区に上陸したこの地の開拓神と言えます。

● 菅浦とんど

菅浦のとんどとは、一対の大鯛の飾りを中心に、椎の木の神木を立てるものです。

● 片江とんど

片江のとんどは、墨付けが特徴です。これは風呂やかまどの煤を練って大根の輪切りに付け、地区の人々の顔に塗って一年の無病息災を願うユニークなものです。

● 膝餅神事

方結神社に伝わる神事で、10人の子供達が餅米と小豆を炊いた赤飯をゴザで包んで膝で餅をつき、神社に奉納するものです。

⑨ 玉結神社

主祭神は玉依比売神。出雲国風土記に載る古社で、江戸時代には田前明神と呼ばれていました。

⑩ 鬼子母神、一部塔さん

笹子集落の入口にある千部塔さんの門番で、中央が鬼子母神、両側が一部塔さんです。

⑪ 千部塔さん

山の中腹にあり、笹子集落を守っています。

惣津・七類エリア

① 明島神社

片江湾を望む緩斜面に立地する古墳時代～奈良時代の集落跡です。製塩土器が出土しています。

惣津海岸

レインボー

● 七類のとんど

とんどは歳徳神を迎え、祀る正月行事です。七類のとんどは、子供が中心で、とんどの時にはシーヤという堂宇で籠る習慣があります。

② 限石落下地点

平成4年12月10日に美保関いん石が民家に落下したことを示すため、記念碑が建てられています。

③ 質留比神社(鯛釣行事)

主祭神は美保津比売命と事代主命が祀られています。出雲国風土記に載る古社で、鯛釣行事が伝わっています。

④ 七類大日堂

海辺に漂着した、大日如来、広目天、毘沙門を、地元の人々が祀ったという伝説があります。

⑤ 常楽寺

曹洞宗長寿寺の末寺で、本尊は十一面観音菩薩を安置しています。

⑥ メテオプラザ

平成8年にオープン。美保関隕石と円錐形の塔が目印。美保関隕石が展示されており、隕石や宇宙に関する情報も展示されています。

万原・下宇部尾・森山・宇井エリア

① 横田神社(下宇部尾)

大己貴命を祀る神社です。江戸時代に森山の横田神社から勧請されたとの説があります。毎年10月に「はんぼかべり神事」が行われます。

③ 横田神社(森山)

大己貴命、事代主神を祀る神社です。毎年11月には伝統祭礼の「はんぼかべり神事」が行われています。

●横田神社のはんぼかべり神事

横田神社は、森山と下宇部尾にあり、両社ともにはんぼかべり神事が伝承されています。はんぼは、飯びつのことで、大国主命が事代主神の所へ行く途中に森山の漁師宅で一宿一飯の恩義を受け、喜んではんぼを頭にかぶったという伝説に因んだ神事です。はんぼを頭の上に載せて踊り、豊作や大漁を祈願するものです。

造船所(東から)
石橋造船鉄工所
森山造船所
石橋造船鉄工所松江工場
亀屋造船所
美保船渠造船
福島造船鉄工所森山工場
福島造船鉄工所森山第２工場

②松本巌が眠る墓(横田墓地)

松本巌は文政2年(1819)森山で医師の長男として生まれ、幕末維新の動乱期に尊王攘夷運動の志士として対鎮撫使交渉にあたり松江藩を救う活躍をしました。

④萬福寺、松本巌の頌徳碑

万福寺の門前には松本巌を顕彰する石碑があります。

⑤権現山洞窟遺跡

縄文時代後期以降の洞窟遺跡で、国史跡に指定されています。土器や石で作った矢じりなどが発掘されています。

⑥網場神社、古墳

網場神社の南側にある古墳で、箱式石棺が発見されました。(現在は埋め戻されています)

⑦大江遺跡

弥生時代の遺跡で、磨製の石包丁が発見されました。稲作の伝来を裏付ける貴重な遺跡です。

法田・諸喰・雲津・福浦・男鹿・長浜エリア

釣鉾灯台

① 美保の北浦

島根半島最東端の地蔵崎から七類湾までの約8kmの海岸線は、変化に富んだ美しい自然景観であることから、国の名勝に指定されています。

② 奢母智神社

主祭神は天久比奢母智神、国久比奢母智神です。

③ 明音寺

浄土宗覚源寺末寺。本尊は阿弥陀如来です。

④ 諏訪神社

主祭神は建御名方神です。中世には諏訪明神として、武士の崇敬を受けていました。隠岐に流された後醍醐天皇と後鳥羽上皇も参拝したという伝承があります。

⑤ 源義親の墓

覚源寺の右手奥に五輪塔があります。この地で無念の最期を遂げた源義親の霊を鎮める要害山祭りが伝わっています。

⑥ 出雲赤壁

馬見ヶ鼻近くにある高さ132m、幅70mの断崖で、鉄分による赤褐色の岩脈と、紺碧の海との調和が素晴らしいものです。

⑦ 三保神社

主祭神は事代主命と三穂津姫命で出雲国風土記に載る古社です。美保造りの社殿を持ち、豊漁や豊作を祈念するナマス祭りが春と秋に行われます。